

教科目標

心と体を一体としてとらえ、運動や健康・安全についての理解と運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てるとともに健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かな生活を営む態度を育てる。

基礎的・基本的な知識及び技能の習得、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力を育む

言語活動の充実

生涯にわたって運動に親しみ、健康の保持増進を図る資質や能力の育成を図る観点から、主に体を動かす活動を通して、コミュニケーションや感性・情緒に関する学習活動及び知的活動を充実する。また、健康・安全に関する知識を活用する学習活動を充実する。

仲間と関わり、基本的技能を身に付けながら工夫して課題の解決を図る事例

1 学年 第1学年

2 単元名 球技（ネット型：バレーボール）

3 単元の目標

バレーボールに積極的に取り組むとともに、バレーボールの特性を理解しながら学習課題に応じた運動の取り組み方を工夫し、基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームが展開できるようにする。

4 言語活動の充実の視点

視点1：話し合いを通して互いの考えを伝え合ったり、仲間に助言をするなどして学習を援助しようとする。（コミュニケーション能力の育成）

視点2：身に付けた知識や技能を基に、個人やチームに合った練習方法を話し合ったり、作戦や戦術を工夫したりする。（論理的な思考力の育成）

5 主な学習活動（全12時間）

段階	学習活動
第一次 (1)	○オリエンテーション ・グループ編成、役割分担 ・バレーボールの歴史やルール
第二次 (4)	○個人技能を高める ・基礎的なパスの行い方 ・試しのゲーム①
第三次 (4)	○集団技能を高める ・攻撃の組織的プレー ・試しのゲーム②
第四次 (3)	○まとめのゲーム ・リーグ戦形式ゲーム

視点1

視点2

「体育分野」では

- 各運動場面で、体を動かす機会を適切に確保した上で、相手や仲間の良い演技に賛辞を送る、互いの良い演技を認め合う、互いに教え合うなどのコミュニケーションを図る学習活動を行います。
- 仲間の演技から良い動きを見付けたり、自己の演技と仲間の演技の違いを比較したりすることで、自己の取り組むべき技術的課題を明確にするなどの知識を実践的に活用する学習活動を行います。

「保健分野」では

- 実習などを実施した際の観察や体験を基に話し合い、考察し、個人生活における健康・安全に関する課題や解決の方法を見付けたり、選んだりするなどの活動を重視します。
- 健康に関わる概念や原則を基に、自分たちの生活や事例と比較したり、関係を見付けたりしたことについて、筋道を立てて説明するなどの活動を重視します。

評価の観点

- 話し合いへの参加の様子や、助言するなどして仲間の学習を援助しようとする様子は「運動への関心・意欲・態度」の観点で、学習内容を踏まえた作戦や戦術の選択を行う学習は、「運動についての思考・判断」の観点で評価します。